

3Dフォーマットウィザード

ユーザーガイド

シャープ株式会社

目次

1	はじめに.....	3
1.1	適用OS	3
1.2	取り扱える画像フォーマット.....	3
1.3	概要	3
2	起動	3
3	インポート画面.....	4
3.1	3Dディスプレイタイプの設定.....	4
3.2	左右の画像の読み込み.....	4
3.3	“次へ” ボタン.....	4
4	エクスポート画面.....	5
4.1	画質とファイルサイズ.....	5
4.2	デジタル著作権管理	5
4.3	“保存” ボタン.....	5
4.4	“終了” ボタン.....	5

著作権

This software and manual are copyright Sharp 2002.

1 はじめに

3Dフォーマットウィザード（以下単に「ウィザード」と略）はコンピュータで生成された立体画像ファイル（2つの独立したファイル）を、シャープ3Dディスプレイに表示できる1つの立体画像ファイルに統合するものです。

1.1 適用OS

ウィザードはWindows 98, 98SE, ME, 2000, XP Pro, XP Home で動作確認されています。Windows2000やXPにインストールする際には“Administrators”もしくは“コンピュータの管理者”の権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

1.2 取り扱える画像フォーマット

ウィザードはJPEG, TIFF, PNG, BMPの各画像フォーマットを扱うことができます。

1.3 概要

ウィザードは以下の手順に従って操作ガイドをします。

1. 対になっている画像ファイルの読み込み
2. 画像品質の調整
3. 画像の保存

“戻る” ボタンをクリックすればいつでも直前の操作をやり直すことができます。

“終了” ボタンをクリックしてアプリケーションを終了する際、処理中の画像がセーブされていない場合はワーニングが出ます。

2 起動

スタートメニューから辿るか、もしくはウィザードアイコンをダブルクリックしてウィザードを起動します。

3 インポート画面

ウィザードの最初の画面です。

3.1 3Dディスプレイタイプの設定

設定されたディスプレイタイプによって出力される画像サイズが決定されますので必ず正しい値を設定してください（現在の所ディスプレイタイプは1種類のみ）。

3.2 左右の画像の読み込み

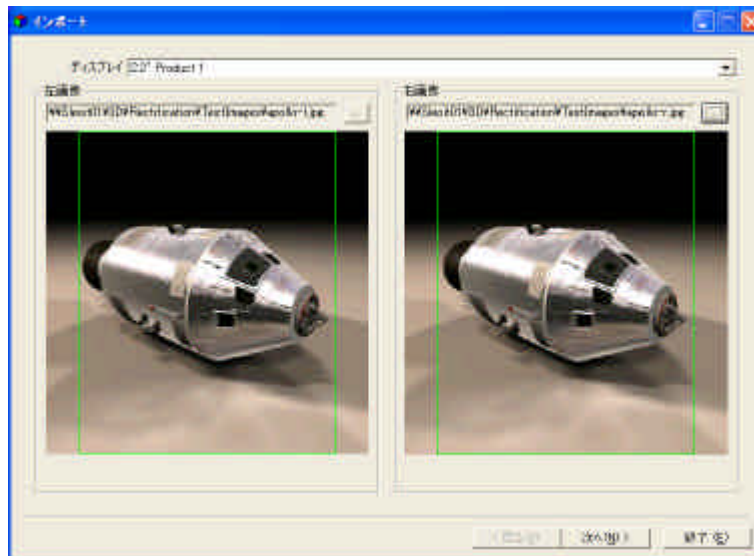


図1: インポート画面

この画面には変換される左右の画像が表示されます。左右のパネルのそれぞれ右上にある“...”ボタンをクリックすると“ファイルを開く”ダイアログが表示され、任意のファイルを指定することができます。

画像上に表示される枠は、処理に使われる画像領域を表示しています。処理を進めるためには左右の画像は同じ大きさである必要があります。左右の画像の大きさが異なる場合は、パネルの背景が赤く表示され、この場合は“次へ”ボタンをクリックしてもエラーが表示され、次の処理に移ることができません。

3.3 “次へ” ボタン

画像の読み込みができたなら“次へ”ボタンをクリックしてください。

4 エクスポート画面

画像を3Dディスプレイのフォーマットに合わせてファイル出力します。画質は出力前に調整することができます。

エクスポート画面では画像をディスプレイに供給するフォーマットで表示します。この画面で表示する画像は圧縮がかけられた画質で表示を行います。



図2: ファイルセーブ前に画質をセットするところ

4.1 画質とファイルサイズ

画質スライダを操作して画質/ファイルサイズをマニュアル操作で調整することができます。生成される画像ファイルサイズはスライダの下に表示されます。

4.2 デジタル著作権管理

将来、他のソフトウェアによる画像の修正等を防止したい場合は“デジタル著作権管理”のチェックボックスをチェックしてください。

4.3 “保存” ボタン

“保存”ボタンをクリックすると画像がセーブされます。ファイルダイアログが表示されますのでディレクトリとファイル名を指定してください。出力ファイルのデフォルトの拡張子は“Stereo JPEG”を意味する“stj”となります。

4.4 “終了” ボタン

操作が終了したら“終了”ボタンをクリックしてアプリケーションを終了させてください。